NGK スパークプラグ　NTK ニューセラミック

株　主　の　皆　様　へ

2007年度事業のご報告

第108期 2007年4月1日から2008年3月31日まで

日本特殊陶業株式会社

証券コード 5334

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申しあげます。平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申しあげます。

さて、日本特殊陶業グループの第108期（2007年４月１日～2008年３月31日）の事業および近況についてご報告申しあげます。

■当期の連結業績について

第108期の売上高は3,455億84百万円（前期比0.2%増）と４期連続の増収を記録したものの、収益面においては営業利益350億39百万円（前期比33.1%減）、経常利益349億38百万円（前期比35.1%減）、当期純利益221億44百万円（前期比35.0%減）という厳しい結果となりました。

第107期を開始年度として、第109期に売上高3,500億円、営業利益500億円を目標とする３ヵ年計画に対する進捗状況としましては、情報通信・セラミック関連事業において、期待した高付加価値化への対応が一転して需給バランスの緩みとなったことを受け、売上が伸び悩んでいますが、欧州・アジアを中心に補修用スパークプラグの出荷が当初想定を超えるペースでの出荷となったことや、計画策定時に前提とした為替水準（１ドル=112円、１ユーロ=140円）が、初年度から2年目の上半期までは円安に推移したことにより、当初計画を上回るペースとなっています。

一方、営業利益につきましては、自動車関連事業は補修用プラグに牽引され計画を上回っているものの、ICパッケージを中心に販売価格の下落、減価償却費負担の増加等により計画を下回っています。

その結果、経営指標は、ROE目標8.0%に対して7.7%、売上高営業利益率目標10.0%に対して実績は10.1%となりました。

■次期の見通しについて

最近の世界経済動向を概観しますと、米国における住宅ローン問題を契機に起きた金融不安が、世界同時株安、急激なドル安をもたらす一方、新興経済発展国での旺盛な需要と投機目的による原油価格の史上最高値の度重なる更新や貴金属等の原材料が高騰するなど不透明感が色濃く漂ってきています。グローバルな事業活動を展開している当社グループとしましては、このような世界経済の動向に影響を受けることから、情勢の変化に応じた的確な対応を図っていかねばなりません。一方、こうした外的変化に一喜一憂せず、『１歩先行くもの作り』の姿勢を基本とし、『総員参加』で品質の向上、絶え間ないコストダウンの推進、生産および調達の世界最適化等を地道に実践していくことが重要だと考えています。

次期の業績見通しとしましては為替レートを１ドル=105円、１ユーロ=150円を前提に、売上高3,410億円（前期比1.3%減）、営業利益は264億円（前期比24.7%減）、経常利益は276億円（前期比21.0%減）、当期純利益は167億円（前期比24.6%減）を見込んでいます。

■当期・次期の配当について

第108期の１株当たり配当金につきましては、中間配当を13円50銭とし、これに期末配当金13円50銭を合わせて年間27円と昨年と同額としました。また、期中において自己株式250万株の市場買付も実施しました。第109期の１株当たり配当金については、普通配当金として年間27円を予定しています。

■新たな市場への取り組み

既に、世界経済の中で急速に巨大市場としての存在を高めている中国・インドをはじめ、東欧・ロシアや南米・アフリカ大陸に至る新興経済発展地域に対し、当社グループとして市場獲得に向けた取り組みは最重要課題のひとつです。

国外では唯一となるスパークプラグ一貫生産工場として1959年に設立されたブラジル特殊陶業㈲では、今後更に伸びが期待される新車組付用プラグ、各種センサに対応するため工場の集約・増強を図ると同時に、早くからアルコール燃料への対応に取組んできたことも当社グループの中で新たな価値を高めつつあります。また、中国ではスパークプラグの組立・販売に加え、工場の拡張を行い当事業年度より自動車用酸素センサの本格的な生産・販売を行っています。更に、インドでは当事業年度よりスパークプラグの現地組立を開始、南アフリカでも2007年に南アフリカNGKスパークプラグ㈱を設立、生産・販売活動を開始し、拡大する市場への対応を行っています。

これらの活動を更に一層スピードアップすることによりスパークプラグ・酸素センサの世界トップシェアの維持拡大を図っていきます。今後とも引き続き株主の皆様のご支援、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申しあげます。



2008年6月
取締役社長

加藤倫朗

1kW級固体酸化物形燃料電池スタック：世界最高の発電効率60%を達成

当社では、機能性セラミックスの材料技術とプロセス技術を活かし、高効率でクリーンな発電システムとして期待される固体酸化物形燃料電池（Solid Oxide Fuel Cell：以下SOFC）の開発を進めておりますが、このたび、700℃低温作動型の1kW級SOFCスタックとしては世界最高の発電効率60%（メタン燃料、DC発電端効率）を達成いたしました。

また、この高効率の発電スタックの開発と同時に、発電スタックを組み込んだ設置性に優れた世界最小クラス（巾500×奥行400×高さ910mm）の１ｋW級ＳＯＦＣ発電システムユニット試作機を開発し、都市ガスを使用した発電試験において、定格発電出力時のＤＣ発電端効率で最高57%を確認しています。次の段階として、発電システムユニット内に系統連係機能を有するパワーコンディショナー、脱硫器および温水製造用の排ガス熱交換器を収容したコージェネレーション発電試験機を2008年内に開発し、2009年度以降の社外実証試験に向けて発電システムの信頼性確認・量産化検討を実施していく予定です。

当社のもつ技術的な強みを集結し、次世代の動力源として期待されている燃料電池とその周辺技術の研究開発を、早期の事業化を目指して積極的に推し進めてまいります。

■１ｋW級発電モジュール



700℃で作動する発電スタックは、起動バーナー、水蒸気改質（燃料となるメタンなどの炭化水素ガスに水蒸気を加え、触媒で改質して水素を主成分とした燃料ガス組成にすること）用の水を水蒸気化する気化器、燃料ガスと空気を予熱する熱交換器とともに断熱容器内に収容し、モジュール化しています。

■１ｋW級ＳＯＦＣ発電システムユニット試作機

発電モジュールを収容した世界最小クラスの１ｋW級SOFC発電システムユニット試作機を開発し、都市ガスを使用した定格発電出力時のDC発電端効率で最高57%を確認しました。



現在は、脱硫器、および温水製造用の排ガス熱交換器をユニット外に設置していますが年内には系統連係機能を有するパワーコンディショナー、脱硫器、排ガス熱交換器を収容したシステムユニットを開発していく予定です。

CSRへの取り組み

企業の存続は、社会の様々なステークホルダーからの信頼で成り立ちます。企業が果たしている社会的役割も、社会での健全な発展があって初めて可能となります。そのためには、適切な情報開示とモラルに秀でた透明性のある企業経営を目指すこと、健全な経済効果を追求すること、これらのバランスが重要と考えます。

当社グループは、1996年に企業理念、1998年に企業行動規範を制定し、企業として進むべき方向を示しました。そして2004年11月には『行動規範ガイドブック』を発行し、的確な判断、適切な行動をするための基準を明確にして、役員・従業員の意識を高めています。

にっとくアジア留学生奨学基金

グローバル化する国際社会にあって、諸外国との友好関係、とりわけ留学生を通じての交流は、それぞれの母国の発展に寄与するとともに、日本との友好関係を担う人材育成に資することから非常に重要です。また、当社グループは長年アジア諸国で活動を続け、それぞれの地で暮らす方々から暖かいご支援を頂いてきました。

こうした状況を踏まえ、当社では会社創立70周年記念事業として、愛知県内の大学・大学院に在学するアジア諸国からの留学生に奨学金を支給する公益信託「にっとくアジア留学生奨学基金」を2007年6月に設立し、初年度は8名の奨学生に助成を行いました。

社会の発展のために、この活動を通して、いささかなりとも貢献できればと考えています。



環境への取り組み

当社グループは、事業活動における環境負荷の全体像を捉え、各種の環境活動を実施しています。これらの取り組み内容は、毎年発行する「日本特殊陶業グループ環境社会報告書」にて報告しています。また、国内の各工場・子会社の環境情報は、それぞれ「サイトレポート」にまとめて発行しています。

環境社会報告書・サイトレポートは、当社ホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。

http://www.ngkntk.co.jp/environment/index.html



【 環境宣言 】

当社グループは、社会、地球環境との調和を図りつつ、環境にやさしいNGKスパークプラグ/NTKニューセラミック製品のライフサイクル全体を通して、良品主義のもと新たな価値を提案し、世界の人々に貢献します。

この達成のため、環境方針に基づく環境行動計画を策定し、総員参加により持続可能な社会、経営の発展を追求し、信頼される企業として社会的な役割・責任を担っていきます。

当期の業績

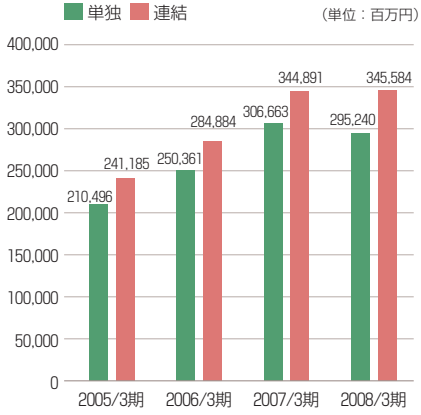
連結

売上高	3,455億84百万円（前期比0.2%増）
経常利益	349億38百万円（前期比35.1%減）
当期純利益	221億44百万円（前期比35.0%減）
1株当たり当期純利益	100円93銭

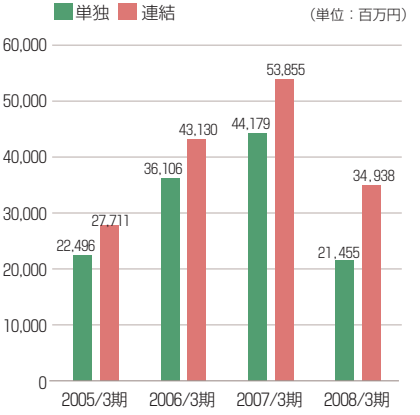
単独

売上高	2,952億40百万円（前期比3.7%減）
経常利益	214億55百万円（前期比51.4%減）
当期純利益	144億 5百万円（前期比48.8%減）
1株当たり当期純利益	65円66銭

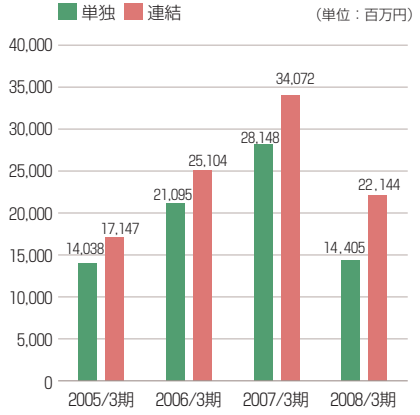
売上高



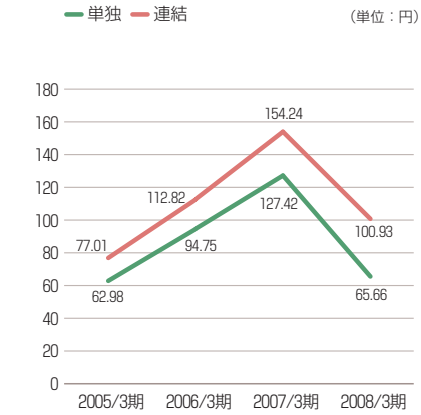
経常利益



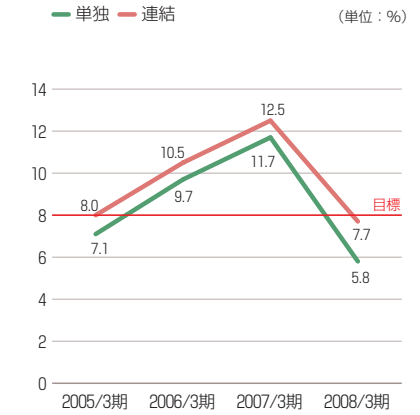
当期純利益



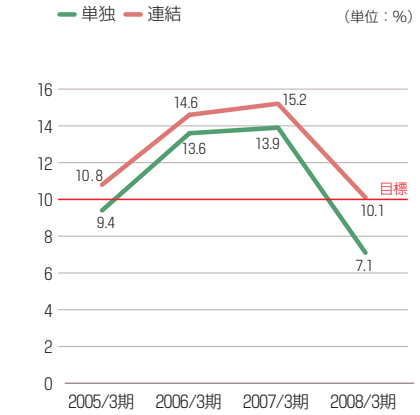
1株当たり当期純利益



自己資本当期純利益率（ROE）



売上高営業利益率

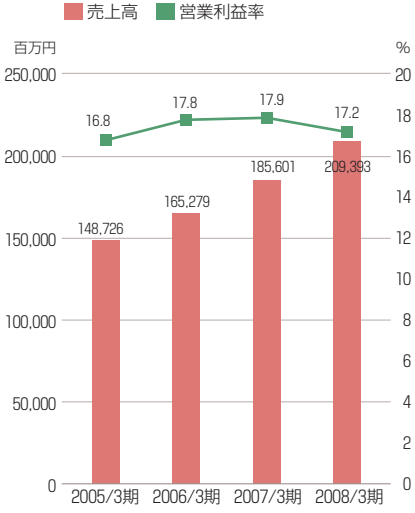


自動車関連事業

連結売上高　2,093億93百万円（前期比12.8%増）
連結営業利益　361億10百万円（前期比 8.8%増）

自動車の保有台数が増加する新興市場の需要に牽引され、日米での停滞を補って新車組付用、補修用市場ともに好調に推移しています。特に東欧・ロシアおよびアジア地域における補修用市場への出荷は、昨年に引き続き伸長しました。また、欧州を中心としたディーゼル車の生産台数の増加をはじめ、世界的な環境対策、低燃費化の流れを受けて、グロープラグ・高着火性スパークプラグ・排気ガス制御用各種センサが好調な出荷となりました。

自動車関連事業売上高・営業利益率

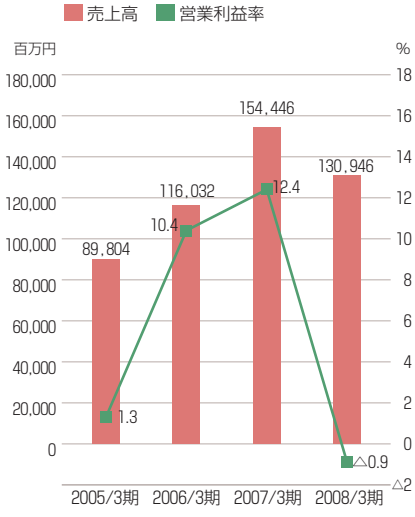


情報通信・セラミック関連事業

連結売上高　1,309億46百万円（前期比15.2%減）
連結営業損失　11億60百万円（前期営業利益191億62百万円）

当事業における主力製品であるMPU用オーガニックICパッケージは、第２四半期における客先在庫の調整、年度後半における急速なドル安の進行に加え、第４四半期から稼動した大規模新工場の立ち上げに係る初期費用の発生、競争激化による販売価格の下落により厳しい結果となりました。産業用セラミック関連製品においては、昨年度前半の医療用酸素濃縮器の初期市場導入特需が無くなったことから売上減となりましたが、自動車・航空機・IT業界向けの機械工具やセラミック応用製品が堅調に推移しています。

情報通信・セラミック関連事業売上高・営業利益率



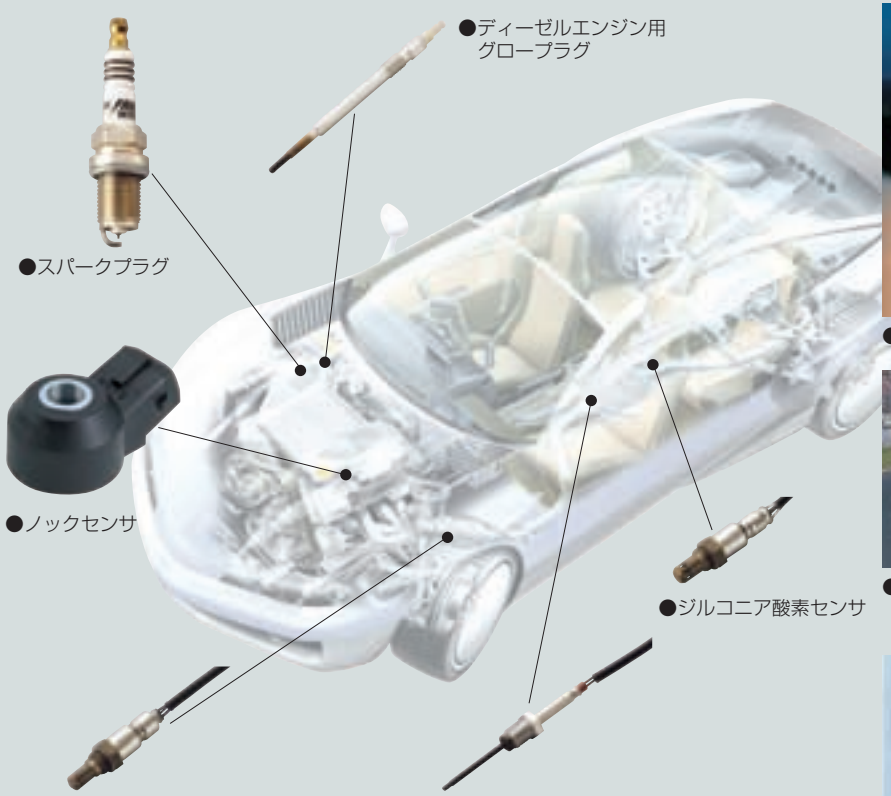
その他の事業

連結売上高　53億53百万円（前期比　8.4%増）
連結営業利益　89百万円（前期比127.4%増）

自動車関連事業

モータリゼーションを取り巻く環境は、自動車の利便性・快適性・機能性だけでなく、資源保護や環境保全を含めた多面的な開発姿勢が強く求められています。こうした要望に応じて、当社ではスパークプラグをはじめ、酸素センサ、ノックセンサなどの幅広い自動車部品を開発してきました。スパークプラグは現在では国内外のほとんどの自動車メーカーに採用され、排気ガス浄化システム用酸素センサとともに世界トップクラスのシェアを誇っています。

自動車関連事業　主要製品




●ロケット用プラグ


●レース用プラグ

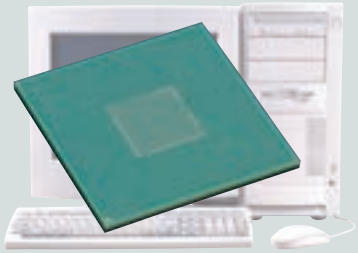

●プラグコード・プラグキャップ

情報通信・セラミック関連事業

情報通信の飛躍的な発展に伴う多種多様なニーズに応える総合ICパッケージメーカーとして、セラミックやオーガニック材料を使い、パソコンの心臓部であるMPU（マイクロプロセッサ）用や携帯電話をはじめとする通信機器に搭載されるデバイス用のパッケージを各種取り揃えています。また長寿命、高精度加工を実現する切削工具をはじめ、各種セラミック応用製品は、従来からの産業・輸送分野に加えて人工骨といったバイオセラミックスや在宅酸素療法に使われる酸素濃縮器などの医療分野、イオン発生器用セラミック部品やセラミックヒータなどの生活関連分野、そして半導体製造装置用部品など幅広く使用されています。

情報通信・セラミック関連事業　主要製品

●オーガニックICパッケージ



●水晶デバイス・
SAWフィルター用パッケージ

●アンテナスイッチ
モジュール



●酸素濃縮器



●バイオセラミックス





●半導体製造
装置用部品



●半導体用部品



●切削工具



●超音波振動子

連結貸借対照表

単位：百万円

資産の部

科目	2007年3月末	2008年3月末
流動資産	**223,328**	**199,503**
現金及び預金※	24,375	23,363
受取手形及び売掛金	61,716	56,131
有価証券※	51,859	23,558
たな卸資産	65,433	76,453
繰延税金資産	9,960	11,347
その他	10,286	9,136
貸倒引当金	△302	△488
固定資産	**190,440**	**212,647**
有形固定資産	**119,267**	**150,197**
建物及び構築物	43,687	65,461
機械装置及び運搬具	43,829	58,074
土地	16,846	18,717
建設仮勘定	12,638	5,362
その他	2,265	2,581
無形固定資産	**1,699**	**11,752**
のれん	753	9,236
ソフトウェア	946	2,516
投資その他の資産	**69,472**	**50,697**
投資有価証券	64,941	46,395
繰延税金資産	1,263	1,462
その他	3,376	2,936
貸倒引当金	△108	△97
資産合計	**413,769**	**412,150**

※国内の譲渡性預金は当期より有価証券に計上しています。
前期は、当期に合わせ組替再表示しています。

負債及び純資産の部

科目	2007年3月末	2008年3月末
流動負債	**84,657**	**70,864**
買掛金	32,809	31,482
短期借入金	15,468	4,399
未払法人税等	11,188	3,865
繰延税金負債	198	191
その他	24,992	30,924
固定負債	**40,134**	**52,987**
社債	16,099	36,099
長期借入金	—	200
退職給付引当金	14,166	14,307
役員退職慰労引当金	740	789
負ののれん	53	31
繰延税金負債	7,901	439
その他	1,174	1,120
負債合計	**124,792**	**123,851**
株主資本	**259,629**	**271,029**
資本金	47,869	47,869
資本剰余金	55,170	55,174
利益剰余金	166,642	182,946
自己株式	△10,052	△14,960
評価・換算差額等	**27,541**	**15,039**
その他有価証券評価差額金	26,837	15,896
為替換算調整勘定	703	△857
少数株主持分	**1,805**	**2,230**
純資産合計	**288,976**	**288,299**
負債及び純資産合計	**413,769**	**412,150**

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

単位：百万円

科　目	2007年3月期	2008年3月期
売上高	**344,891**	**345,584**
売上原価	**248,564**	**262,243**
売上総利益	**96,326**	**83,340**
販売費及び一般管理費	**43,924**	**48,301**
営業利益	**52,401**	**35,039**
営業外収益	**4,812**	**5,102**
受取利息及び配当金	2,203	2,707
その他	2,609	2,395
営業外費用	**3,359**	**5,203**
支払利息	906	610
その他	2,453	4,593
経常利益	**53,855**	**34,938**
特別利益	**140**	**37**
固定資産売却益	55	24
投資有価証券売却益	85	13
特別損失	**610**	**424**
固定資産処分損	610	418
投資有価証券売却損	—	5
税金等調整前当期純利益	**53,385**	**34,551**
法人税、住民税及び事業税	21,079	13,443
法人税等調整額	△2,011	△1,497
少数株主利益	244	461
当期純利益	**34,072**	**22,144**

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科　目	2007年3月期	2008年3月期
税金等調整前当期純利益	53,385	34,551
減価償却費	18,861	25,474
売上債権の増減額	△5,920	4,249
たな卸資産の増加額	△11,928	△11,051
仕入債務の増加額	2,432	3,964
法人税等の支払額	△20,676	△20,617
その他	326	1,156
営業活動によるキャッシュ・フロー	**36,481**	**37,728**
定期預金純増減額	836	2,280
有価証券純増減額	13,845	17,147
有形固定資産の取得	△36,420	△51,185
子会社株式追加取得支出	△562	△10,878
その他	△622	△1,184
投資活動によるキャッシュ・フロー	**△22,924**	**△43,820**
借入金純増減額	4,942	△12,010
社債発行による収入	—	19,893
社債償還による支出	△10,000	—
自己株式の取得	△3,601	△4,914
配当金の支払	△5,527	△5,828
その他	143	△70
財務活動によるキャッシュ・フロー	**△14,042**	**△2,929**
現金及び現金同等物に係る換算差額	**△1,561**	**△629**
現金及び現金同等物の増減額	**△2,046**	**△9,651**
現金及び現金同等物の期首残高	**43,304**	**41,257**
連結範囲の変更に伴う増加額	—	**96**
現金及び現金同等物の期末残高	**41,257**	**31,702**

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書（2008年3月期）

単位：百万円

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
2007年 3月 31日残高	**47,869**	**55,170**	**166,642**	**△10,052**	**259,629**	**26,837**	**703**	**27,541**	**1,805**	**288,976**
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△5,842		△5,842					△5,842
当期純利益			22,144		22,144					22,144
連結範囲の変動			2		2					2
自己株式の取得				△4,914	△4,914					△4,914
自己株式の処分		3		7	10					10
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						△10,941	△1,561	△12,502	424	△12,077
連結会計年度中の変動額合計	—	3	16,304	△4,907	11,400	△10,941	△1,561	△12,502	424	△677
2008年 3月 31日残高	**47,869**	**55,174**	**182,946**	**△14,960**	**271,029**	**15,896**	**△ 857**	**15,039**	**2,230**	**288,299**

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結子会社（2008年３月期　36社）

米国特殊陶業株式会社
米国テクノロジー株式会社
英国NGKスパークプラグ株式会社
欧州NGKスパークプラグ有限会社
ヨーロッパ特殊陶業株式会社
ブラジル特殊陶業有限会社
オーストラリアNGKスパークプラグ株式会社
セラミックセンサ株式会社
株式会社日特製作所
株式会社神岡セラミック
株式会社飯島セラミック
株式会社中津川セラミック
他　24社

持分法適用会社（2008年３月期　2社）

友進工業株式会社
東海耐摩工具株式会社

配当金の推移

（１株当たり）

	2006年3月期	2007年3月期	2008年3月期	（2009年3月期）
中間	9円	11円 創立70周年記念　3円	13円50銭	（13円50銭）
期末	11円	13円	13円50銭	（13円50銭）
年間	20円	27円	27円	（27円）

（ ）は予定

貸借対照表

単位：百万円

科　目	2007年3月末	2008年3月末
〔資産の部〕		
流動資産	163,340	143,794
固定資産	185,493	209,213
有形固定資産	100,157	126,527
無形固定資産	872	2,311
投資その他の資産	84,464	80,375
資産合計	348,834	353,007
〔負債の部〕		
流動負債	62,577	61,491
固定負債	36,414	48,823
負債合計	98,991	110,315
〔純資産の部〕		
株主資本	223,318	226,978
資本金	47,869	47,869
資本剰余金	55,170	55,174
利益剰余金	130,331	138,895
自己株式	△10,052	△14,960
評価・換算差額等	26,523	15,714
純資産合計	249,842	242,692
負債及び純資産合計	348,834	353,007

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

単位：百万円

科　目	2007年3月期	2008年3月期
売上高	306,663	295,240
売上原価	238,717	248,254
売上総利益	67,946	46,985
販売費及び一般管理費	25,293	26,153
営業利益	42,653	20,831
営業外収益	4,404	5,188
受取利息及び配当金	1,881	2,469
その他	2,523	2,719
営業外費用	2,878	4,565
支払利息	214	277
その他	2,663	4,287
経常利益	44,179	21,455
特別利益	123	36
固定資産売却益	52	23
投資有価証券売却益	70	13
特別損失	524	351
固定資産処分損	524	346
投資有価証券売却損	—	5
税引前当期純利益	43,778	21,140
法人税、住民税及び事業税	16,900	7,962
法人税等調整額	△1,270	△1,227
当期純利益	28,148	14,405

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

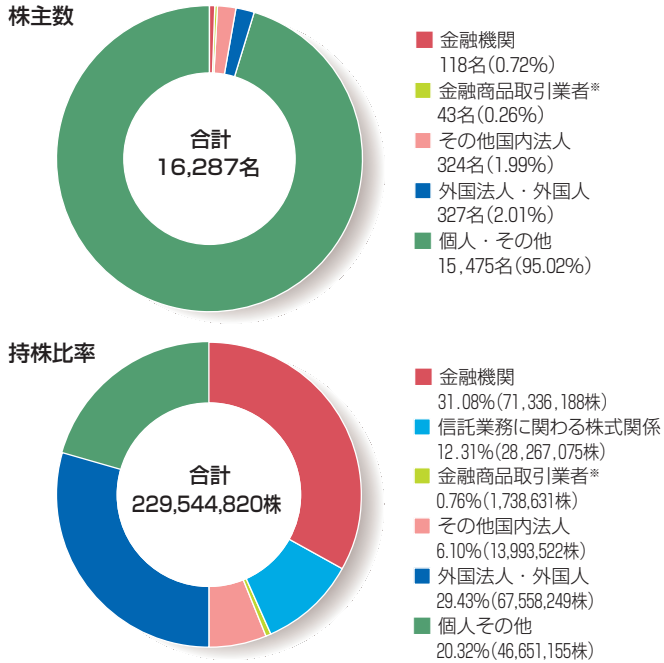
発行可能株式総数	390,000,000株
発行済株式の総数	229,544,820株
株主数	16,287名

大株主

株主名	所有株式数	出資比率
	千株	%
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	16,892	7.35
第一生命保険相互会社	16,752	7.29
明治安田生命保険相互会社	13,794	6.00
日本生命保険相互会社	10,179	4.43
株式会社三菱東京ＵＦＪ銀行	10,039	4.37
ジェーピーモルガンチェースバンク380055	9,725	4.23
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	9,418	4.10
全国共済農業協同組合連合会	7,050	3.07
モルガン・スタンレーアンドカンパニーインク	4,603	2.00
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	4,257	1.85

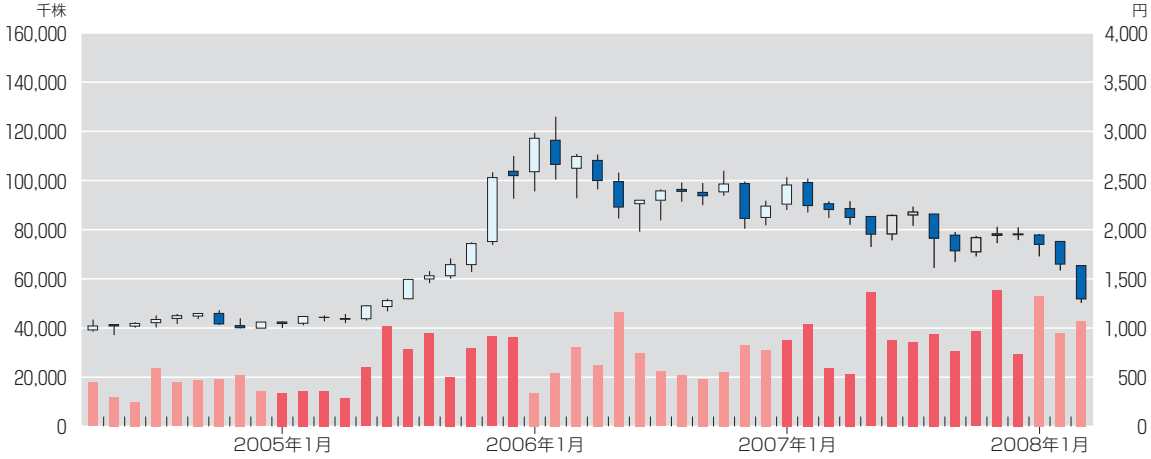
（注）当社は、2008年3月31日現在自己株式を11,624千株保有しておりますが、上記大株主から除外しております。

所有者別株式分布状況



※金融商品取引業者（旧：証券会社）

株価および株式売買高（東京証券取引所）



会　社　の　概　要

（2008年3月31日現在）

商　　号	日本特殊陶業株式会社
英文社名	NGK SPARK PLUG CO., LTD.
本社所在地	〒467-8525 愛知県名古屋市瑞穂区高辻町14番18号
設立年月日	1936年（昭和11年）10月26日
資　本　金	478億69百万円
主要生産品目	
自動車関連部門	
	スパークプラグ（自動車用、航空機用、農林・船舶・産業用、レース用）、ディーゼルエンジン用グロープラグ 自動車用各種センサ（酸素センサ、ノックセンサ　他） セラミック製エンジン部品　他
情報通信・セラミック関連部門	
半導体用部品	セラミック積層型ICパッケージ、オーガニックICパッケージ、通信デバイス用パッケージ、アンテナスイッチモジュール　他
電子部品	誘電体フィルタ、誘電体共振器、着火装置、超音波振動子　他
機械工具	セラミック切削工具、サーメット切削工具、コーティング切削工具、微粒子超硬合金切削工具　他
応用セラミック	真空スイッチ容器、半導体製造装置用部品、セラミックヒータ、シリコン整流器用容器、オゾナイザ、バイオセラミックス、医療用酸素濃縮器　他
主な事業所	工　場：本社工場、小牧工場、鹿児島宮之城工場、伊勢工場 支　社：東京 営業所：東京、大阪、名古屋、広島、福岡、仙台、札幌
従　業　員	5,882人（就業人員）

ホームページのご案内

日本特殊陶業のホームページでは、IR（投資家向け）情報や、スパークプラグをはじめとする製品に関するご案内などの情報を掲載してお待ちしております。是非一度ご覧ください。

http://www.ngkntk.co.jp/



役　　員
（2008年6月27日現在）

代表取締役 取締役社長	加藤倫朗
代表取締役 取締役副社長	橋本玄次郎
代表取締役 取締役副社長	加藤直幹
専務取締役	川原一雄
専務取締役	小原道郎
常務取締役	八木秀明
常務取締役	加川純一
常務取締役	岩田康寛
常務取締役	川下政美
取締役	伊藤恒夫
取締役	山田哲正
取締役	住田克彦
取締役	二村精二
取締役	多島容
取締役	山田正彦
取締役	寺西範男
取締役	柴垣信二
取締役	大島崇文
取締役	尾堂真一
取締役	河尻章吾
取締役	鈴木淳一郎
取締役	中川武司
常勤監査役	川満務
常勤監査役	浅井正美
監査役	井上邦洋
監査役	佐尾重久

株主メモ

事業年度	４月１日から翌年３月31日まで
剰余金の配当の基準日	期末配当：3月31日 中間配当：9月30日 上記のほか、別途定めることもあります。
定時株主総会	６月中に開催
公告方法	電子公告の方法により行います。ただし、事故やその他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞および中日新聞に掲載します。 http://www.ngkntk.co.jp/koukoku/
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 お問合せ先 0120-232-711（通話料無料） お手続用紙のご請求 0120-244-479（通話料無料）
同事務取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
株式事務のお手続について	変更届（住所・氏名・お届出印など） 名義書換請求 単元未満株式の買取請求および買増請求 配当金振込指定書 など、三菱UFJ信託銀行にて受付けております。 どうぞご利用ください。 なお、証券保管振替制度をご利用されている場合は、お取引の証券会社にお申し出ください。
上場取引所	東京・名古屋（第1部）

NGK スパークプラグ　NTK ニューセラミック
日本特殊陶業株式会社
愛知県名古屋市瑞穂区高辻町14番18号
http://www.ngkntk.co.jp/

R100 PRINTED WITH SOY INK